



平成 26 年 1 月 29 日

各 位

会社名 遠州トラック株式会社  
代表者名 代表取締役社長 澤田 邦彦  
(JASDAQ・コード 9057)

問合せ先

取締役常務執行役員管理本部副本部長  
豊田 慶造

電 話 0538-42-1111

海外非連結子会社の清算及び一部事業からの撤退、並びにこれに伴う  
特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、海外非連結子会社である大連遠州貨運有限公司（以下、大連遠州という）の清算及び青島遠州国際物流有限公司（以下、青島遠州という）の物流加工部門からの撤退を骨子とする中国事業の再編について決議いたしました。これに伴い、平成 26 年 3 月期決算において特別損失を計上する見込みとなりましたので、併せてお知らせいたします。

記

## 1. 大連遠州の清算及び青島遠州の物流加工部門からの撤退について

### (1) 理由

当社グループは、中国・大連及び青島地区において、中国の国営企業との合弁による標記法人を設立し、グループの中国事業統括会社である当社連結子会社・株式会社中国遠州コーポレーション（以下、中国遠州コーポレーションという）のもと、主としてアパレル製品の検品、検針等の物流加工業務及び輸送・倉庫業務を中心とした物流事業を営んでまいりました。

このうち、典型的な労働集約型産業で、低単価な検品・検針業務にウェイトを置く物流加工部門は、両法人とも元来採算性に課題があったことに加え、近年の現地人件費の高騰や円安の影響を受け、逐年業績を悪化させてまいりました。当社グループは、この数年、合弁相手とともに事業の改善に向けた諸施策に取り組んでまいりましたが、為替相場等の外部環境は一層厳しさを増しており、さらに踏み込んだ事業の見直し、再構築が必要となっておりました。この観点に立ち、今般、当社グループは大連遠州については法人自体の清算、青島遠州については輸送及び倉庫業務を残し、物流加工部門から撤退することといたしました。

## (2) 清算する大連遠州の概要

① 名称	大連遠州貨運有限公司		
② 所在地	中国・大連市甘井子区營城子街道後牧村東山工業区		
③ 代表者の役職・氏名	董事長 尹 崇		
④ 事業内容	物流加工業、倉庫業、運送業		
⑤ 資本金	500,000 米ドル		
⑥ 設立年月日	2000 年 12 月 1 日		
⑦ 大株主及び株主比率	中国遠州コーポレーション	60%	
	大連交通運輸集团有限公司	40%	
⑧ 上場会社と当該会社の関係	資本関係	中国遠州コーポレーションが 60%を出資しております。	
	人的関係	当社執行役員 1 名が当該会社の副董事長を、取締役 1 名が董事を、従業員 1 名が監事を、それぞれ兼務しております。	
	取引関係	当社と同社の間取引関係はありません。	
	関連当事者への該当状況	当該会社は当社の非連結子会社ではありません。	
⑨ 当該会社の最近 3 年間の経営成績及び財政状態	(単位：千元)		
決算期	2010 年 12 月期	2011 年 12 月期	2012 年 12 月期
純資産	1,757	2,865	3,022
総資産	3,361	4,284	3,703
営業収益	11,153	7,077	4,319
営業利益	46	△1,577	△1,842
経常利益	46	1,108	157
当期純利益	46	1,108	157

(3) 物流加工部門から撤退する青島遠州の概要

① 名称	青島遠州国際物流有限公司		
② 所在地	中国・青島市城陽区流亭鎮趙村金山路 2-4		
③ 代表者の役職・氏名	董事長 邹 建社		
④ 事業内容	貨物運送業、倉庫業、物流加工業		
⑤ 資本金	1,000,000 米ドル		
⑥ 設立年月日	1997 年 1 月 20 日		
⑦ 大株主及び株主比率	中国遠州コーポレーション	70%	
	青島市対外経済貿易実業公司	30%	
⑧ 当該会社の最近 3 年間の物流加工部門の経営成績	(単位：千元)		
決算期	2010 年 12 月期	2011 年 12 月期	2012 年 12 月期
営業収益	7,887	7,544	6,264
営業総利益	661	△273	△88

(4) 日程（予定）

- ① 大連遠州の清算は、中国の現地法令に従い、所要の手続きに則って実施し、本年 9 月末日頃を目処に完了させる予定です。
- ② 青島遠州の物流加工部門からの撤退は、本年 4 月末日頃を目処に完了させる予定です。

2. 特別損失の計上について

本中国事業の見直しに伴い、当該中国二法人における従業員の退職一時金の支払いや固定資産の処分等の事業再編費用の発生、及び中国遠州コーポレーションにおける両法人に対する出資持分の減損損失計上等のため、当連結会計年度において特別損失 220 百万円を計上する見込みです。

なお、本特別損失等の計上に伴い、本日別途開示しました「業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり、平成 26 年 3 月期通期業績予想（連結・個別）を修正いたしました。

※上記の特別損失見込額は、現時点において入手可能な情報に基づき算定した金額であり、今後の様々な要因によって変動する可能性があります。

3. 今後の見通し

今後、青島遠州については、有力な日系企業を対象に、取引開拓の余地のある輸送・倉庫業務に経営資源を投入することにより、業績の立て直しを図ってまいります。

当社グループとしては、他の中国現地法人（上海遠州物流有限公司、青島佳天美遠州貿易有限公司）を含めさらなる事業改革に努め、親会社である株式会社住友倉庫を始め、フォワーダーとの連携強化による日中一貫物流の推進等と合わせて、中国事業全体の伸展と安定化を図ってまいります。

以 上